



環境経営の意思決定支援や LCA設計を推進する情報システムです。

「環境経営情報システム」は、環境経営の進捗を把握・推進するためのシステムで、環境負荷を集計する「環境負荷情報システム」と、環境コスト・効果を集計する「環境会計システム」で構成されています。集計・加工したデータは、環境経営の意思決定支援やLCA設計*の推進、部門別の改善活動、社会への情報開示に役立てています。

* 36ページを参照。

環境負荷情報システム

事業活動の各工程および事業活動全体の環境負荷を把握・集計するシステムです。集計したデータをもとに事業活動全体のエコバランス*1を把握し、環境行動計画*2の策定に反映することで、環境負荷の大きい工程から重点的に改善を進めています。特定のデータを切り出したり、組み合わせて利用することもでき、事業所の環境改善活動や環境影響化学物質の削減活動などにも活用されています。

*1 29ページを参照。

*2 15ページを参照。

環境会計システム

環境負荷情報システムの環境保全効果データと、会計システムの環境コストデータを集計し、環境経営指標*1などに加工することにより、「コーポレート環境会計*2」をタイムリーに把握するシステムです。

*1 32ページを参照。

*2 33ページを参照。

環境経営情報システム

環境負荷情報システム

調達



環境行動計画や法規制情報と連動し、グリーン調達を推進するためのシステムです。仕入先企業とのネットワークを活用し、原材料や部品の質量・構成素材・含有化学物質などの情報を収集しています。2003年度は中国でも稼動を開始*しました。

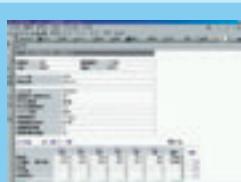
* 51ページを参照。

設計



LCA設計を推進するために、環境面・コスト面から最適な材料や部品を選定するシステムです。調達管理システムや化学物質管理システムと、設計のCADシステムが連動しています。

製造



事業活動の環境負荷を把握するためのシステムです。生産系事業所はもちろん、本社オフィスなど非生産系事業所を含む全事業所の電気使用量・化学物質使用量・CO₂排出量・廃棄物排出量などを、グループ内ネットワークを活用して収集しています。

輸送・販売



物流拠点・輸送工程・販売拠点での環境負荷を削減するために、電気使用量・ガソリン使用量・廃棄物発生量などを収集するシステムです。対象拠点のEMS構築に合わせて、データ収集を開始しています。

使用



製品別の環境性能(消費電力・両面生産性・リサイクル対応設計のレベルなど)を共有し、LCA設計やカタログでの情報開示などに活用するためのシステムです。設計データをもとに製品別の環境負荷情報を集計しています。

保守・サービス



製品メンテナンス時の環境負荷を把握・分析するためのシステムです。製品の保守履歴データベースおよび保守拠点でのガソリンや電気使用量を集計するデータベースをもとに関連情報を収集しています。

回収・リサイクル



製品設計時のリサイクルプランを回収製品のリユース・リサイクルに活用するための情報インフラや、再資源化処理の詳細を把握するシステムを開発しています。2003年度は、グローバルなシステム展開を実施しました。

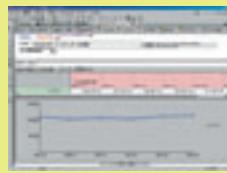
情報収集

情報収集



配分に必要なデータ
収集の仕組みを構築
・生産台数(工程別)
・製品重量
・販売実績
・部署や設備と製品との関係

主要事業活動の化学物質、
消費エネルギー、廃棄物データ



部門別環境負荷データ



リサイクル情報データ



情報
加工
情報
解析

PDCA(Plan-Do-Check-Action)*を
推進するための情報が導き出されます。

* 19ページを参照。

エコバランスの把握

29ページを参照。

環境行動計画の策定・進捗管理

15ページを参照。

環境経営指標

32ページを参照。

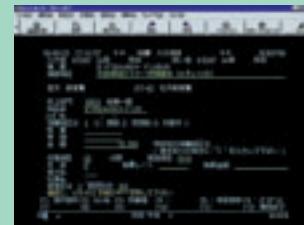
環境配慮設計

35ページを参照。

環境会計システム

会計システム

環境経費



環境設備投資



環境会計集計データベース

